

一、傍線部を口語訳せよ。

- 1 聞きたくおぼさむときは、はばかり給ふべからず。 (古今著聞集)
- 2 かかればこそ、昔の人は、もの言はまほしくなれば、穴を掘りては言ひ入れはべりけめ。 (大鏡)

二、次の助動詞の活用表を完成させ、それぞれ活用語の何形に接続するかも答えよ。

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
たし	()					○	

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
まほし	()					○	

三、傍線部の助動詞の活用形を答えよ。

- 1 近う参つて見(げん)参にも入りたかりつれども、憚(はばか)りもぞ思(おぼ)し召すとて通りぬ。 (平家物語)
- 2 今一声こそ聞かまほしけれ。 (謡曲・隅田川)
- 3 智慧と心とこそ、世にすぐれたる誉(ほま)れも残さまほしきを、つらつら思へば、 (徒然草)
- 四、空欄に助動詞「たし」を活用させて入れよ。
 - 1 大方、物の音には、笛・箏(ひち)箏(りき)。常に聞き()は、琵琶(び)琴(は)・和(わ)琴(ごん)。 (徒然草)
 - 2 今日吉日なれば、薬代をみやうがのためにつかはし()。 (日本永代蔵)
- 五、空欄に助動詞「まほし」を活用させて入れよ。
 - 1 箏(ひち)箏(りき)はいとかしがましく、秋の虫を言はば、くつわ虫などの心地して、うたて、け近く聞か()ず。 (枕草子)
 - 2 紫のゆかりを見て、つづきの見()おぼゆれど、人語らひなどもえせず。 (更級日記)

1 一 聞きたいとお思になるようなときは
 2 二 ものを言いたくなると

たし	基本形
たから (たく)	未然形
たかり たく	連用形
たし	終止形
たかる たき	連体形
たけれ	已然形
○	命令形
連用形	接続

1 二

まほし	基本形
まほしから (まほしく)	未然形
まほしかり まほしく	連用形
まほし	終止形
まほしかる まほしき	連体形
まほしけれ	已然形
○	命令形
未然形	接続

3 2 1 三
 連用形
 已然形
 連体形

2 1 四
 たき
 たし

2 1 五
 まほしから
 まほしく